

# 眼 科

## 1 診療体制

### (1) 外来の状況

午前一般外来診療、午後は主に予約による特殊な検査・治療（蛍光眼底造影、レーザー治療など）を行っている。

### (2) 病棟の状況

東4病棟の他に、平成30年2月から東3病棟を使用している。

白内障手術目的の患者が大半である。白内障患者の入院期間は3泊4日程度である。

### (3) 手術の状況

手術は水曜日を中心に行っている。

手術件数は456件で前年を29件上回った。硝子体注射の増加が影響している。

## 2 診療スタッフ

部長	森 浩 士 (平成 16. 4. 1～)	副部長	秋 山 隆 志 (平成 21. 4. 1～)
医 長	土 屋 香 (平成 25. 4. 1～)	視能訓練士	丹 波 睦 美 (平成 12. 6. 1～)
視能訓練士	有 田 真 喜 (平成 23. 4. 1～)		

## 3 診療内容

平成29年4月から平成30年3月までの手術内容、件数は（別表1）のとおりである。

表1 手術内容・件数

		29年度	28年度	27年度
白 内 障 手 術	PEA+IOL	386	380	387
	ICCE	1	3	0
翼状片手術		1	1	1
眼瞼内反症手術		6	2	0
眼球摘出術		0	1	0
眼球内容除去術		1	0	1
硝子体内注射		56	34	22
その他		5	6	2
計		456	427	413

## 4 1年間の経過と今後の目標

平成29年度は10月末までは常勤3人体制で診療に当たった。外来は月、火、木、金は常勤医2名、水曜日は常勤医1名で担当した。10月末以降は土屋が産休に入ったため、2人体制となった。診療内容は眼科一般で、これは来年度も変わらない予定である。平成29年9月から病院が地域医療支援病院になったことにより、予約のない新患者数は減少した。紹介患者数は増加しており、諸先生方のご期待に沿えるよう頑張りたい。手術に関しては、手術内容は前年度同様白内障手術を中心とし、その他に翼状片、眼瞼内反などの外眼部手術を行った。抗VEGF治療は網膜静脈閉塞症に11件、加齢黄斑変性に19件、糖尿病黄斑症に26件施行した。白内障手術に関しては、今年度の手術件数は387件で前年に比べ4件上回った。来年度の目標は、手術に関しては今年度同様に白内障、外眼部手術を中心に行っていく予定である。また抗VEGF治療も網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症を中心に行っていく予定である。

BSC

部署名	眼科									
ミッション 理念	西多摩地区の眼科疾患に対する診療の拠点としての役割を充実させる。									
運営方針	1.白内障手術数の維持と成績向上 2.非観血的領域(ぶどう膜炎、神経眼科など)の治療制度の向上 3.病診連携の促進									
観 点	戦略的目標	主な成果	指 標	基本的手順	H27 年度 実績	H28 年度 実績	H29 年度 目標	H29 年度 実績	評価	
顧客の視点	地域信頼度の向上	中核病院機能の向上	紹介率	迅速かつ丁寧な返信 逆紹介の推進 高次医療機関への適切な紹介	46.4%	48.9%	前年度 以上	60.6%	達成	
経営の視点	医療収益の増加	手術症例数の増加	白内障手術症例数	紹介患者数の維持・増加	387件	383件	前年度 以上	387件	達成	
内部プロセス の視点	安全の向上	医療事故の回避	医療事故件数		0件	0件	0件	0件	達成	
	質の向上	手術成績の向上	他院での処置を要した白内障合併症数	症例ごとに安全な術式の検討 合併症の早期発見、的確なりカバー	0件	0件	0件	0件	達成	
学習と成長 の視点	学術面での向上	学術活動の活発化	学会出席、学会発表		0回	0回	1回 以上	0回	未達成	

